

風の流氷

◆ 一般投稿作品 ◆

広報委員会 選

退院の日を待ちのぞむ梅雨晴れ間 楮佐古きよ
万葉の手弱女偲ぶ猫柳 福留ともり
み仏も法話聴くなり夏座敷 山崎 貴子
氏神に幸せ折り夏祭り 白井 幸子
草繁る故郷に父は眠りたし 森本 幸美
小燕の巣立ちを待ちて窠を焚く 山崎 寿美
高き杉負けじと咲きし藤の花 坂本美智子
補聴器に轉り聞くや雨あがり 岡田美代子
表までプールの児等の声ひびく 北村千鶴子
白百合は淡き青春眺め居り 有澤 春江
音ひとつ欠けたるピアノ梅雨深し 千頭 野草
梅雨晴れやことりと郵便受の音 森本 純喜
毘沙門の三段飛沫滝の音 高野 和一
茗荷生え今年はいつか五月雨 小野寺朱実

◆ かみ野俳句会 ◆

緑陰の空氣軋ませ弓引きぬ 佐竹 洋子
どくだみの十字明るき雨の道 佐藤 幸
梅雨晴荷物となりし傘杖に 利根 弘子
今朝咲きし沙羅一輪の白さかな 古川 信子
被るひと戻らぬままの夏帽子 小松 愛子
墓鳴きて日暮れ間近の漁支度 中澤 美晴
一玉の雫集めて大葉蓮 森本 健代
初蛙膨らむ闇の一人酒 山崎 鈴子
試歩の路地ボンボンダリア弾け咲く 吉田 芳

◆ 菫句会 ◆

結といふ絆に集ふ茶摘かな 公文 春紀
更衣杖の長さをかえて見る 岡本かほる
木下陰紫陽花茫と咲いてをり 高橋 章
植込みの下勢揃ひ踊子草 明石ゆきえ
大空をわがものとなし花檣 篠崎 亜希
花棟出世頭の餓鬼大将 北村 幸子
床の間に飾る一刀今年竹 西川 常夫
青葉城そり瑞山処刑の碑 甲藤 卓雄
紫陽花や又病院に傘忘れ 國澤 英
溪川の濁りのうすき花うつぎ 野崎 典子
紫蘇畑に婦人部こそり昆布売りに 北村 里子
紫陽花や手料理添えるなごみ会 小野川順子
紫陽花に集まり談義限もなく 前田 芳子
湯煙の動き重たげ梅雨の旅 明石 英子
ハイウェイ車窓あふるる青葉風 中内ゆかり
忠魂碑少年兵の名棟咲く 竹内 ろ草

◆ かほく俳句会 ◆

躬の錆を増やして梅雨の底にあり 乾 真紀子
東京の嫁柿若葉天麩羅に 奥宮さとみ
針金を口に銜へて袋かけ 久保内鏡子
流行に閑はりなくて更衣 黒岩 幸女
兼山の水滔滔と早生稲の花 黒岩千英子
茶を炒りし竈の跡や梅雨滂沱 小松 隆之
梅雨晴や畑に一日過こしけり 小松 完
梅雨霧に民意は見え永田町 小松 昇
母の日や何贈りても喜ばれ 杉山 春萌
若竹の明るさ雨は土砂降りに 野村 里史
実梅落つそこに捨て田や捨て畑 前田 欣一
夏至近し菫生は雨のはしたなく 前田 秀女
不揃ひの薙漬けて恙なる 間崎 和代

菫生富士裾野引き寄せ田植え済む 森本 之子
鶉の花岩に落つとき弾み合ふ 山崎かずみ
十葉の花の盛りを軒に吊る 山中 晶子
隠し田の水を見に来る銀行員 山中 瑞輝
道端を占め親しまれ姫女苑 山中 明石

◆ 土佐山田町俳句会 ◆

露汁に染む手にケータイとりて笑む 中沢としみ
散髪屋の土間のでこぼこ梅雨深し 明石 菫生
こぼれ落つ子かまきりの面構え 大石 邦男
芒種の日昏れてひとつの家消える 安丸 槇子
梅雨揚羽めまひの中に住まはせて 前田 小夜
化粧水はたく蛍火のついでくる 前田美智子
他人事のやうな顔してバナナむく 橋本 昭和
軽島の子の一本橋を渡り切る 森田 菊恵
馬酔木の花の簪あそびも穂岐山郷 樫谷 雅道
花檣旧国鉄の官舎跡 田村 一翠

◆ 今月のキラリ ◆

梅雨晴れやことりと郵便受の音
梅雨の最中の束の間の晴れ間。そんな日は、郵便の届く、微かな音にも心が和むのである。

◆ 俳句・短歌の投稿方法 ◆

▼投稿方法は自由。(ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内)
▼住所・氏名・電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。
▼掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-18501 (住所不募) FAX 53・5958

香美市立美術館

アートの窓



香美市物部町出身の現代美術家・小原義也さんの1975年から2010年までの35年間にわたる自薦作品を一堂にご覧いただく展覧会を開催します。

1935年物部町生まれの小原さんは、高校卒業後、画家を志して上京します。1955年のモダンアート展への出品を始めとし、1961年からは現代日本美術展、1963年、65年とシエル美術賞展で佳作を受賞し、若手現代美術家として注目を集めました。

小原義也展 「作品1975～2010」

8月27日(土)～9月18日(日)



▲Work-'93-No.2

- ★オープニングセレモニー
8月27日(土)午後2時～
- ★小原義也アーティストトーク
8月27日(土)午後2時30分～
- ★館長による作品解説
8月28日(日)・9月11日(日)
9月18日(日)

た。1976年にはフランス美術賞展(パリ)やJAPAN ART NOW展(サンフランシスコ)にも出品し、その後も国内でのグループ展、個展で次々と抽象の世界を深めながら制作を続け、中央美術界の第一線をプロの作家として歩み続けてきました。

ナル展まで代表を務め、現代美術を地元に着、発展させてきました。その間の2006年には当館主催の香美市合併記念事業現代美術展にCATのメンバー13人の多様な作品を東京より出品していただき、地元高知の作家とのコラボレーション展が実現しました。この展覧会には小原さんのご協力なしには実現しなかった企画でした。

現代美術、特に抽象画は理解が難しいと思う方がいらっしゃるかもしれませんが、小原さんの作品は、ふる里物部町の豊かな自然、緑深い山々、清らかな水、谷や湖水を渡る清涼な風、そしてそこに住む人々の心温かい人情、それらが作品の生まれる源になっていきます。作品の前に立って静かに見つめてくださいます。

吉井勇記念館だより

吉井勇顕彰短歌大会 作品募集

平成24年3月10日(土)に開催される、第9回吉井勇顕彰短歌大会の作品を募集します。

■ 作品募集要項

【作品】1人2首まで。自作・未発表のもので主題は自由。応募用紙または原稿用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・大会当日の出欠・送迎バス利用の有無を明記してください。学生の場合は学校名、学年も記入してください。
【出詠料】千円(高校生以下無料)。郵便為替または現金書留にて、投稿時に納めてください。
【締切期限】平成24年1月20日(金)必着

【選者】

▽伊藤一彦(現代短歌・南の会代表、心の花所屬)▽玉井清弘(NHK学園短歌講座「友の会」選者・「音」選者)▽楠瀬兵五郎(高知県歌人連盟会長)

【賞】

一般の部・学生の部(高校生以下)ごとに各賞選出
吉井勇大賞(1首)・吉井勇賞(1首)・特別賞(3首)・佳作(若干首)

【入賞発表】入賞者へ2月下旬に電話連絡します。

【送迎バス】※要予約
市役所西庁舎より、香美市役所香北支所前経由で、送迎バスを運行します。

行き 12時発
(香北支所前12時20分) 帰り 15時40分発

【注意事項】
・受付後の作品の訂正はご遠慮ください。
・投稿後の作品の返却はいたしません。
・投稿作品の、著作権等一切の権利を主催者が有します。

【問い合わせ・申込先】

市立吉井勇記念館 吉井勇顕彰短歌大会 歌会係
〒781-4247
香美市香北町猪野々514
TEL 58・2220
FAX 57・5995